

清掃業務及び付帯業務内容

1. 業務内容

日常清掃業務，定期清掃業務及び付帯業務とし，その内容は次のとおりとする。

(1) 日常清掃業務

床の除塵，吸殻等の清掃を主とし，適宜壁面，ドア，窓枠，手すり，便所，洗面所備品等の清掃及びゴミ箱等の清掃処理を行う。

(2) 定期清掃業務

① 床ワックス掛け

塩ビ床，ピータイル等の部分については床洗浄の後，樹脂ワックス掛けを行う。場所と頻度については，別紙清掃基準表に示すとおりとする。

② 木床ワックス掛け

木床の部分については床洗浄の後，ワックス掛けを行う。場所と頻度については，別紙清掃基準表に示すとおりとする。

③ じゅうたんクリーニング

じゅうたん部分については敷いたままで，専用のクリーニング器機を用いてクリーニングを行う。場所と頻度については，別紙清掃基準表に示すとおりとする。

④ 窓ガラス拭き

全館の窓（総面積 950 m^2 1階 786 m^2 2階 164 m^2 そのうち二重ガラス 550 m^2 ）を対象とし，年2回の拭き掃除を行う。ただし，二重ガラスの内側については，年1回とする。

(3) 付帯業務

① 浴室の巡回，清掃

浴室（男女）の入浴時間中における巡回による異常の有無の確認及び入浴後の清掃を行う。

② 湯茶器等の設置

指示した部屋の湯茶器，そして老人福祉施設和室集会室の湯茶の準備・配置・巡回及び後始末を行う。また，湯のみを週一回漂白剤で洗浄する。

③ 生ゴミ等の搬出

生ゴミ等を指定した場所に搬出する。

2. 業務要領

(1) 日常清掃業務

① 塩ビ床，ピータイル，木床については，特殊モップ又はよくしぼったモップ等で除塵を行う。

② 畳，じゅうたん部分については，電気掃除機により吸塵を行う。また，しみが生じている場合は，即時洗剤等により取り除く。

③ 磁気タイルについては，場所に応じてモップまたは掃除機により除塵，吸塵を行う。

- ④ 壁面，ドア，窓枠，手すり，備品等については拭き掃除を行い，汚れの状況により洗剤等を使用する。
- ⑤ 便所及び洗面所は，午前 2 回午後 2 回巡回点検し，汚れの甚だしい部分については，専用の清掃用具や洗剤等で除去する。また，つまりが生じた場合は，即時除去を行う。
- ⑥ 便所及び洗面所の衛生消耗品（トイレットペーパー，石鹼水）は午前 2 回午後 2 回巡回点検し補充する。
- ⑦ プラザ・駐車場については，ゴミ，落ち葉，土砂等を対象に竹ぼうき等で掃除を行い，冬期は除雪を行う。

(2) 定期清掃業務

- ① 床ワックス掛けは，床の除塵，洗浄を行い，乾燥後に樹脂ワックスをむらなく塗布し乾燥させ，ポリシャー等で充分にバフし艶をだす。また床表面が著しく汚れている場合は，必要により被膜剥離を行った後にワックス掛けを行う。
- ② 床ワックス掛けを実施するに際しては，事前に実施日，備品類の移動について，職員と打ち合わせを行う。
- ③ じゅうたんクリーニングは，専用のクリーニング器機や洗剤を用いて行う。また汚れの著しい箇所やしみのついた箇所は，適応した処理剤を用いて除去する。
- ④ じゅうたんクリーニングを実施するに際しては，事前に実施日，備品類の移動等について，職員と打ち合わせを行う。
- ⑤ 窓ガラス拭きは，水拭きを行った後，ウィンドスクイージー等で汚れを取り除く。また汚れの著しいところは，ガラス用洗剤を塗布して行う。

(3) 付帯業務

- ① 入浴時間中は適当な間隔で浴室を巡回し，入浴や設備に異常がないか確認し，異常があれば，清掃作業員は直ちに市民センター職員へその状況を報告する。また入浴時間終了後は，浴槽洗い場はもちろんのこと，備品類についても洗剤を用い清掃する。
- ② 指示表（時間，場所，数量）に基づき，湯茶，茶器等を設置し，利用後はその後始末を行う。
- ③ 老人福祉施設和室集会室に開館時間前に，茶，茶器を配置し適当な間隔で和室集会室を巡回し，茶が不足していないか確認する。不足している場合は補充し，閉館時間後はその後始末を行う。ただし，感染症予防等の理由によって，茶の提供が適切ではないと判断される場合はこの限りではない。
- ④ 毎月第 2 第 4 日曜日は，入浴時間を 10 時から 15 時 30 分とし，次亜塩素酸ナトリウムで浴槽洗い場を清掃する。
- ⑤ ゴミの貯留状況を確認し，週 1 回程度指定した場所へ搬出する。

3. 注意事項

- (1) 清掃作業員の勤務時間は，原則として午前 8 時 45 分から午後 5 時 30 分までとし，常に 2 名以上配置すること（男女 1 名ずつ配置すること）。なお，市民センター催物の内容等によっては，上記時間外でも対応すること。

- (2) 清掃作業中は、館内の環境を損なわないよう留意すること。
- (3) 廊下等で長時間清掃ワックス掛けを行う場合は、「清掃中」の表示板等を掲示すること。
- (4) 清掃に当たっては、来館者等の安全確保及び火気等には充分注意すること。
- (5) 清掃用具は、便所と一般を区別すること。
- (6) 清掃作業員は制服を着用し、言葉使い等にも注意し、来館者等に不快感を与えないよう留意すること。

4. 報告事項

清掃業務については、年間実施計画表を作成し、日誌等により作業を管理すること。